

標準報酬月額改定届書(年平均用)

この届書は、業務の性質上、例年季節的に報酬が変動することにより、通常の方法により標準報酬月額改定(随時改定)を行うことが著しく不均衡であると認められる場合で、次の①～⑤の要件すべてに該当する場合に、使用します。

- ① 現在の標準報酬月額(A)と固定的給与の変動があった月以降3か月間の報酬の平均から算出した標準報酬月額(B)との間に2等級以上の差が生じていること。
- ② (B)と、昇降給時の年間平均額から算出した標準報酬月額(C)との間に2等級以上の差があること。
- ③ (B)と(C)に生じる差が、業務の性質上例年発生することが見込まれること。
- ④ (A)と(C)との間に1等級以上の差があること。
- ⑤ 加入者が同意していること。

■提出上の注意

1. 随時改定をする際に年平均額による保険者決定の事由に該当し、加入者本人が希望したとき、改定月(変動月から4か月目)の10日以内に提出してください。
2. 保険者決定(年間報酬の平均額により算定)の申立書及び加入者の同意書(随時改定用)を同時に提出する必要があります。
3. 通常の標準報酬月額改定(随時改定)を年平均額による保険者決定に訂正する場合は、先に通常の随時改定分を取り消す必要がありますので、この届書の提出前に「標準報酬月額改定・賞与等取消申出書」を提出してください。

記入例

湯島学園の私学太郎さんは、毎年4月の定期昇給と業務の繁忙時期が重なってしまい、通常の随時改定(4～6月の月平均額で算定)をした場合と年間平均額との間に2等級以上の差がでてしまうため、年間平均額による保険者決定を希望することにしました。

加入者番号 13A9999-00057
 加入者の生年月日 平成3年2月21日
 報酬月額 (当月支給額)
 令和〇〇年7月～令和△△年3月
 固定給 各月25万 非固定給 各月1万
 令和〇〇年4月～令和△△年6月
 固定給 各月26万 非固定給 各月6万
 (昇給時の年間平均額)
 $26万 + \{(1万 \times 9か月) + (6万 \times 3か月)\} \div 12ヶ月 = 28.25万$

所属する学校(園)の学校記号番号を記入してください。

算定基礎月に支払われた報酬を固定的給与・非固定的給与に区分して記入してください。「合計」欄は右づめで記入し、マスが余る場合は前に0(ゼロ)を記入してください。

学校法人等住所・学校等名・代表者名を記入してください。

担当者名を記入してください。

標準報酬月額改定届書 (年平均用)
 下記のとおり届けます。
 令和〇〇年 7月 3日
 日本私立学校振興・共済事業団理事長 殿

学校法人等所在地 郵便番号(113-9999) 東京都文京区湯島5-1-7
 学校法人等名 学校法人 湯島学園
 代表者名 理事長 湯島一郎
 事務連絡先電話番号(必ず記入してください) 市外局番 局番 番号 担当者氏名 文京 03 (3813) 5321

個人番号	加入者氏名	生年月日	改定前の標準報酬月額	算定基礎月	通常・短時間の区分(該当する番号に○)		報酬月額		合計	平均額	昇降給時の年間平均額	改定C	月次発及
					1. 通常(17日以上)	2. 短時間(11日以上)	基本給 現物給与 超過勤務手当 宿日直手当 研究費等	非固定的給与					
21110	私学太郎	030221	17260	0004	○	1. 通常(17日以上) 260,000	0	60,000	0320000	320,000	0282500	6	6
				0005	○	1. 通常(17日以上) 260,000	0	60,000	0320000				6
				0006	○	1. 通常(17日以上) 260,000	0	60,000	0320000				6
				0007	○	1. 通常(17日以上) 260,000	0	60,000	0320000				6
				0008	○	1. 通常(17日以上) 260,000	0	60,000	0320000				6

1. 通常・短時間の区分欄は、通常の加入者は1、短時間労働加入者は2、に○をしてください。また、届け出る算定基礎月において支払基礎日数が17日以上(短時間労働加入者については11日以上)あるかどうかを確認してください(昇降給月以後の継続した3ヶ月のうち、所定日数に満たない月がひと月でもある場合は標準報酬月額改定の対象となりません)。
 2. ※事業団記入欄は記入しないでください。
 3. 随時改定に際し、年間報酬の平均額をもって決定することを希望する加入者が対象となります。
 4. この届出には、保険者決定の申立書及び同意書(随時改定用)の添付が必要です。

私学事業団受付印

円未満の端数がある場合は切り捨ててください。

該当する年号の番号を○で囲んでください。生年月日は年・月・日ごとに2マス用いて記入し、1マスで足りる場合は前に0(ゼロ)を記入してください。

届出の時点ですでに私学事業団で確認されている標準報酬の等級と月額を記入してください。

変動後の報酬支払いが1月分確保できた月を1月目、その翌月を2月目、翌々月を3月目としてその年月を記入してください。

<①昇給月又は降給月以後の継続した3か月の間に受けた固定的給与の月平均額>に、<②昇給月又は降給月前の継続した9か月及び昇給月又は降給月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的給与の月平均額>を加えた額を記入してください。